

## 特別シンポジウム（スポンサー）SS4 要旨

feedM. E. 栄養不良の現状とこれからの対策

共催：アボット ジャパン株式会社

平成 27 年 6 月、「2035 年、日本は健康先進国へ。」とのキャッチフレーズとともに、政府は新たなビジョンとして「保健医療 2035 提言書」を公表した。

この提言書では、「子どもから高齢者に至る生涯を通じた予防・健康づくりを、社会を挙げて支える」ことの重要性を説いており、その中でも特に「低栄養高齢者」に対する「栄養指導による予防的介入」の必要性を述べている。

NST の普及により病院における積極的な栄養介入がアウトカム向上に貢献してきた。一方で、今後さらにその重要性が増す、開業医、在宅領域ではまだそのような環境は整っていない。病院 NST の管理下でない高齢者の栄養不良にどう対応するかが、既述のビジョンを実現するうえでも重要となる。

平成 25 年、世界的な栄養不良認知向上活動の一環として、feedM. E. というプロジェクトが立ち上がっていたのだが、昨年、いよいよこのプロジェクトが日本を含む東アジア地区でもスタートした。

本シンポジウムでは、feedM. E. プロジェクトに東アジア地区アドバイザーとして参画されている諸先生方にお集まり頂き、栄養不良の現状とその対策を考えていきたい。